

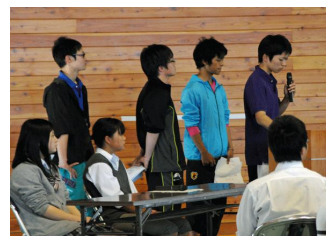
—さあ、Scienceの帆を上げよう！！—は生徒から応募のあったキャッチコピーです。本校校歌にある「徳の帆を上げ知恵の舵」に由来するものです。

理数科課題研究発表（3年生理数科対象SS3）・・・PTA総会に合わせて3つの研究を発表

5月21日(土)、23年度PTA総会にあわせて第1回授業公開が行われ、その午後に第2体育館において、3年理数科生徒による課題研究発表が行われました。

3月22日(火)の発表会の際に披露された14の研究テーマの

内、3つのテーマが、今回再び発表されました。質疑応答の場面では、「算額には円などの図形に関する内容が多いのだが、立体に関する問題はあるのか?」「コメの種類によるエタノールの発生量の違いは?」等の質問がなされ、関心の高さがうかがえました。



左より「理数科課題研究発表のポスター展のパネル」「和算・算額」「コメによるバイオエタノールの生産」「夢のスキーワックス」の研究発表の様子

岡田友彦先生による2年理数科特別講義（2年生理数科対象SS2）

6月6日(月)、信州大学工学部物質工学科の岡田友彦助教を迎え、2年理数科生徒を対象に、課題研究に取り組む心構えについてお話をいただきました。1本のペットボトル飲料を観察し、A4用紙1枚にレポートを書くことを体験しました。そして、できるだけ多くの数値データを集めることと、観察の観点が大切であると伝えられました。「自分の研究の意義を理解し興味をもとう」「より深く、広く見る視野を養おう」「研究は一人ではできない。多くの人を巻き込んで色々な意見を取り入れよう」「第三者に説明する能力を養おう」等をキーワードとした説明を聞き、生徒諸君も、今後の研究へのモチベーションを大いに高めたようです。



左:信大工学部・岡田先生。「高校時代、米澤先生(現本校校長)に英語を教えていただいた。「その当時から、英文の内容把握にとどまらない、理解を『深める』ことを説かれていた。実際に、ゴミ処理工場を取材しレポートを書いた」と話されました。右:説明会の様子

～生徒たちの感想～

- ・目で見たことをできるだけたくさん言葉で表現すること、単位をつけて説明することが大切だと感じた。
- ・具体的に数値化することの大切さを感じた。
- ・実験して、結果が出たらすぐに終わりではなく、その後それをどう活かしていくか、どう役立てていくかを考えさせられた。
- ・自分が不思議に思ったことを具体的に詳しく追究してみようと思う。
- ・岡田先生のような、プレゼンができれば理想だ。
- ・プレゼンをするには、自分かわかっていても人に伝えられなければ意味がない。人にわかりやすく伝える工夫がこの講義でわかった。
- ・課題研究の楽しさがわかってきました。

～生徒たちの感想～

- ・校長先生の授業を始めて受けたが、英文の訳し方、要約のしかたなど考えさせられる授業でした。
- ・世界は広く見なくちゃいけない。そこから自分ができることを探す。まだまだ自分は勉強不足だと感じた。
- ・英文の「要約能力」の大切さを学んだ。
- ・自分で新聞を持ってきて、メモをたくさんとってみただけ、普段から新聞を読まないとなかなかわからないことが多かった。新聞読みます！

学校長特別授業 (SS3)

6月17日(金)米澤修一学校長による特別授業が行われました。「世界を見る目を養いたい」として、「Global Education」と題する英文の教材を用いて、その主旨を説明されました。次に、メモを取るためのノートを全員に配り、各自が持ち寄った新聞を開かせました。そして、「知りたい、深めたい記事、その中のキーワード」を拾い、ノートに書き留める練習を行いました。続いて、各自が手にした岩波新書を用いて、その内容を短時間で把握し説明する方法を伝え、「数十秒あれば、その本の要旨を読み取れる。関心のある分野の本を、毎日、自分で調べ、それぞれが求める学びのペースとなる物を見つけよう」と話されました。



上:校長先生の話真剣に聞く生徒たちの様子。
下:持参した新聞を広げメモをとる

ご意見・ご要望はこちらへ・・・

〒389-2253 長野県飯山市大字飯山 2610 番地

TEL 0269(62)4175 FAX 0269(81)1072

URL <http://www.nagano-c.ed.jp/iikita/>

E-mail iikita@nagano-c.ed.jp